

18 進を取も彼に改してゐる。然かも既成政党に於いて解決されるべき何等の客觀的
 状態を有たない。それが獲得と斗争とは一體のもつて無産政党の性質でなければ
 ならない。

第四に新自由主義の横顔の下にたかくれてゐる。帝國主義競争の危機との斗争
 中である。資本の老成化と共に國際的に深いま、自由主義的のかけ声は、尖鋭
 なる。そして益々尖鋭化されていく。帝國主義的角逐のまつた、一種の
 邊境に過すまい。従つてこれを危機との闘争は、断じて自由主義に依つて解決
 せらるべきものではなく、寧ろ非資本主義的理論に基づく無産政党の救壇場で
 はけられなければならない。

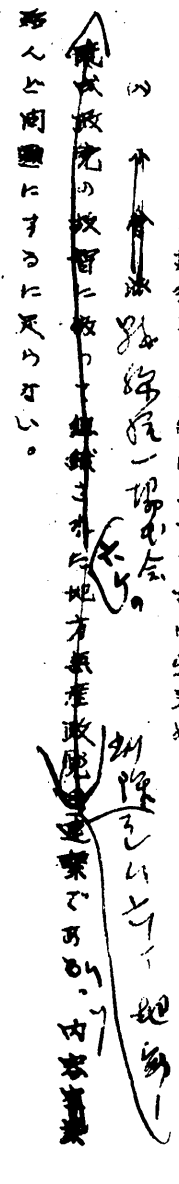
かゝる思惑に立つて現在相対立する無産階級の陣営を思ふ時、果してどうで
 ありうか？

(1) 社会民衆党

小市民及び労働階級の政党である。政治的標識に於ては寧ろ自由主義者の持
 内に懸着し、真如の大衆的斗争を回避しつゝある。経済的斗争に於ては資本家
 階級の持次にかくれぬ一層の繁榮を望むるとするものにも違くない。無産階級
 階級に於て全く斗争をなすべからざる。政治的立場からいへば、この党は
 の立上は進歩的進歩主義を以てする。その下に中流階級もあろう。彼等も
 益々無産政党にしての政策と決はしむるであらう。既成政党との区別は概一放
 である。

(2) 労働党

狭口内閣の出現を機會に、存続として非乞食主義より合法主義に転換した。
 大山一党である。現在のところ殆んど大衆的規模を有たぬ。極端過激の不利
 確はこの党の根本的弱點であり、党の放捨なる活動は不可能ならしめてゐる。
 筆がなすりし労働農民党の追憶に生きたる以外に命脈を保つべき何等の機軸も存
 たない。多くの期待をこの党にさせる事には出来ぬ。



(3) 社会分裂派